

寒冷地における施設切りバラの生産力

第1報 冬季休眠型栽培における1~2年株の生産力

佐藤 泰征・遊佐 吉雄・児玉 きえ子・斎藤 雅博・横山 達平

(宮城県園芸試験場)

Productivity of the Greenhouse Rose in the Cool District

1. Productivity of one or two-year-old roses in the cultivation with winter dormancy

Yasumasa SATO, Yoshio YUSA, Kieko KODAMA,

Masahiro SAITO and Tatuhei YOKOYAMA

(Miyagi Prefectural Horticultural Experiment Station)

1 はじめに

宮城県の切り花生産の中で、バラはキク、カーネーションに次いで重要な品目となっている。そこで、著者らは、施設切りバラの冬季休眠型栽培法の確立と低温性品種の選定を目的に、6品種を供試し、1年株と2年株の採花量と切花品質及び冬季剪定時の高さが生産力に及ぼす影響について、昭和59年から60年まで試験を実施したので、その結果を報告する。

2 試験方法

(1) 供試品種：“ソニア”、“キャラミア”、“ベガ”、“ゴールデンエンブレム”、“マデロン”、“ミミローズ(スプレーバラ)”

(2) 試験区別：試験1、1及び2年株の生産力について品種比較を行った。試験2、昭和60年1月31日に、地上高50cmと70cmで冬季剪定を行い生産力を比較した。

(3) 供試株数：各品種各区10株。

(4) 耕種概要：昭和59年3月14日に切り接ぎ苗をガラス温室に5本定植し、8月7日に夏季ピンチを行った。1年目に12月28日、2年目は昭和60年12月26日に暖房を打ち切り、翌年1月31日まで休眠させた。休眠期を除く期間は最低温度14℃に加温した。

(5) 調査方法：試験1、2ともに5枚葉を2枚残して採花し、採花本数、切花品質を調査し、更に各株から1本の採花母枝を選定して到花日数を調査した。

3 結果及び考察

(1) 試験1：1年株の結果は表1に示した。採花本数は“ミミローズ”、“ソニア”、“マデロン”の順に多いが、到花日数は“ソニア”が短く、“マデロン”が長かった。良花率は“マデロン”が最も高かった。

2年株については表2、図1に示した。採花本数は“マデロン”の38.8本、“ソニア”の32.6本が多く、“ゴールデンエンブレム”は21.8本と著しく少なかった。良花率は“ゴールデンエンブレム”の95%、“マデロン”の93%、“キ

ャラミア”の90%の順に高かった。スプレーバラの“ミミローズ”は良花の花蕾数を5輪以上としたため、良花率は50%と低かった。切花長60cm以上の割合が高い品種は“マデロン”(46%)と“ゴールデンエンブレム”(25%)であった。

加温開始後の1番花の到花日数は“ソニア”が63日、“ゴールデンエンブレム”が64日と短く、他は72日前後であった。

表1 1年株の採花本数及び到花日数、切花長の品種間差(昭和59年)

品種名	採花本数 (本/株)	良花率 (%)	到花日数(日)		切花長(cm)	
			一番花	二番花	一番花	二番花
ソニア	22.9	64	26	49	44	53
キャラミア	14.8	70	34	53	51	59
ベガ	14.5	61	34	49	46	53
ゴールデンエンブレム	12.3	74	33	56	54	53
マデロン	17.5	82	40	63	51	68
ミミローズ	23.6	9	37	57	37	43

注. 切花長25cm未満と屈曲, 病虫害花は不良花とし, ミミローズについては4輪以下も不良花とした。

表2 2年株の採花本数及び切花長の品種間差(昭和60年)

品 種	採花本数 (本/株)	良花率 (%)	切花長の分布(%)			
			40cm 未満	50cm	60cm	70cm 以上
ソニア	32.6	82	63	23	10	4
キャラミア	26.8	90	65	21	11	3
ベガ	29.9	80	52	25	16	7
ゴールデンエンブレム	21.8	95	39	36	18	7
マデロン	38.8	93	24	30	30	16
ミミローズ (スプレーバラ)	28.9	50	39	32	13	6

た。2 番花以降の到花日数も“ソニア”，“ゴールデンエンブレム”は短く，“ベガ”，“ミミローズ”は中間，“キャラミア”，“マデロン”は長い傾向であった。切花長については，“マデロン”，“ゴールデンエンブレム”が長く，“ソニア”は短かった。

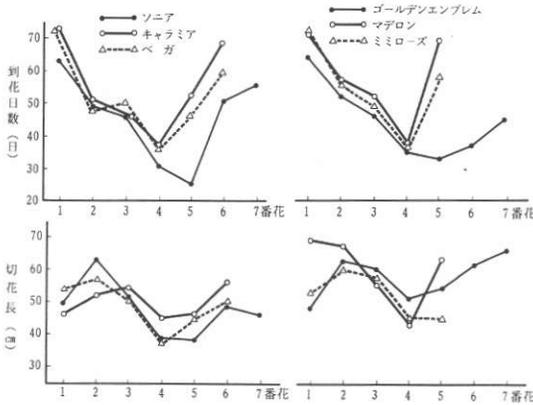


図 1 2 年株の到花日数・切花長 (昭和60年)

表 3 2 年株の樹高別採花本数及び切花長の品種間差 (昭和60年)

品 種 名	樹 高 区 (cm)	採 花 本 数 (本/株)	良 花 率 (%)	切花長の分布 (%)			
				40cm 未満	50cm	60cm	70cm 以上
ソ ニ ア	50	32.6	82	63	23	10	4
	70	36.1	83	58	15	12	5
キ ャ ラ ミ ア	50	26.8	90	65	21	11	3
	70	26.5	85	67	23	9	1
ベ ガ	50	29.9	80	52	25	16	7
	70	31.0	77	50	27	16	7
ゴ ー ル デ ン エ ン ブ レ ム	50	21.8	95	39	36	18	7
	70	23.6	94	52	30	16	2
マ デ ロ ン	50	38.8	93	24	30	30	16
	70	35.6	92	26	27	27	20
ミ ミ ロ ー ズ (スプレーバラ)	50	28.9	50	49	32	13	6
	70	34.6	43	58	26	11	5

注。樹高区は冬季剪定した部位の地上高である。

以上より、低温期には到花日数が短く、採花本数の多い“ソニア”が良く、夏切りには多花性で60cm以上の良花が多い“マデロン”が適する。スプレーバラの“ミミローズ”は花蕾数を揃える技術が必要である。

(2)試験 2： 冬季剪定の高さについて、地上高50cmと70cmで生産力を比較した結果は表 3, 4 に示した。採花本数は“キャラミア”と“マデロン”を除いた 4 品種とも50cm区より70cm区が多かった。良花率は“ソニア”を除く 5 品種で70cmより50cm区がやや上回っていた。切花長の分布は

各品種とも冬季剪定部位の高さによる差は明らかでなかった。

1 番花と 2 番花について到花日数の違いをみると、1 番花では 6 品種とも50cm区より70cm区がやや短く、2 番花でも“ベガ”と“マデロン”を除き70cm区が短くなる傾向であった。切花品質は 1 番花の 6 品種とも70cm区より50cm区が切花長、葉数、茎径で上回っていた。しかし、2 番花では“ソニア”，“キャラミア”，“ベガ”の 3 品種で50cm区より70cm区の切花品質が優れていた。

表 4 2 年株の樹高別到花日数及び切花品質の品種間差 (昭和60年)

品 種 名	樹 高 区 (cm)	採 花 日 (月/日)	到 花 日 数 (日)	切 花 長 (cm)	切 花 重 (g)	葉 数 (枚)	茎 径 (mm)
ソ ニ ア	50	4. 4	63	49.6	34.4	9.7	6.3
	70	5. 23	49	63.0	29.9	11.5	6.1
キ ャ ラ ミ ア	50	4. 3	62	46.4	32.0	8.8	5.8
	70	5. 17	44	60.0	34.7	11.9	6.7
ベ ガ	50	4. 14	73	46.2	37.5	9.6	5.8
	70	6. 4	51	52.0	29.3	10.8	6.0
ゴ ー ル デ ン エ ン ブ レ ム	50	4. 12	71	43.2	40.8	9.0	5.9
	70	6. 1	50	56.5	34.6	13.1	6.4
マ デ ロ ン	50	4. 14	73	53.8	44.4	8.8	6.0
	70	6. 1	48	56.9	35.8	9.0	6.0
ミ ミ ロ ー ズ (スプレーバラ)	50	4. 11	69	50.0	50.0	8.4	5.7
	70	6. 2	52	60.0	60.0	9.3	5.6
ソ ニ ア	50	4. 5	64	48.1	31.0	8.0	6.6
	70	5. 27	52	62.7	36.1	11.4	7.0
キ ャ ラ ミ ア	50	4. 4	63	46.7	24.1	7.9	5.5
	70	5. 25	51	62.2	37.4	10.2	6.9
ベ ガ	50	4. 12	71	69.1	50.8	13.5	8.1
	70	6. 5	57	67.4	31.7	13.4	7.0
ゴ ー ル デ ン エ ン ブ レ ム	50	4. 11	70	66.7	49.7	12.7	7.5
	70	6. 8	58	68.6	31.6	12.4	6.7
マ デ ロ ン	50	4. 13	72	52.7	57.8	8.3	6.3
	70	6. 9	57	60.2	46.1	8.3	6.2
ミ ミ ロ ー ズ (スプレーバラ)	50	4. 12	71	47.8	48.8	8.1	5.9
	70	6. 9	58	58.0	43.5	8.2	5.9

以上より、70cmで採花本数がやや多いが、切花品質では冬季剪定部位の高さとの関係を明確にできなかった。栽培管理上、樹勢の強い 1 及び 2 年株では、50cmの高さで冬季剪定するのが適当と思われる。

4 ま と め

(1) 低温期には到花日数が短く、採花本数の多い“ソニア”が良く、夏切りには多花性で60cm以上の良花が多い“マデロン”が適する。

(2) 冬季剪定部位の高さ70cmで採花本数がやや多いが、切花品質では剪定樹高との関係を明確にできなかった。栽培管理上、樹勢の強い 1 及び 2 年株では、50cmの高さで冬季剪定するのが適当である。